



補習校だより

平成26年度 第28号

平成26年11月15日発行

マイアミ補習校

校長 永井 晋

事務所 305-406-0050

土曜日 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail hoshuko@bellsouth.net

運動会

校長 永井 晋

先週マイアミ補習校第29回運動会を行いました。準備段階では天気が心配でしたが、始まったときには晴れていましたし、終わりに近づき曇ってきましたが雨にはなりませんでした。子供たちと保護者の日ごろの行いのおかげだと思います。今年は生徒会が「仲間を信じて、優勝目指して走り出せ」というスローガンを考えてくれました。まさに仲間と一緒に一生懸命に行った運動会でした。今年は赤組の勝利に終わりましたが、「仲間を信じて」戦ったかどうか大切です。人それぞれの「目指す」ものがあつたと思いますが、同じ色での団結、競技に出た仲間や家族との協力、競技担当の保護者やボランティアの人たちとの協働、大きくはマイアミ補習校運動会に関わつたすべての人たちとの関係等々、これらすべてに「仲間を信じる」必要があつたのです。そして、「仲間を信じる」ことができたからこそこの今年度の運動会の成功があつたと思います。

開会式に始まり、新競技靴飛ばしレース、中学年リレー、幼稚園部低学年徒競走、綱引き、二人三脚と前半の競技が続き、中間発表でした。なんとその時点では白が勝っていました。気合いの入つた応援合戦を挟み、後半のスタートです。玉入れ、障害物競走、高学年リレーと続き、毎年1番の見せ場であるマイアミソーランの演舞があり、最後に選抜レースが行われました。どの競技でも真剣に「仲間を信じて」戦い、閉会式を迎えました。

閉会式ではいきなり得点発表です。赤組が勝つたと分かつたときの赤の喜びよう、白の落胆ぶりは見ていてとても印象的でした。どちらも一生懸命「仲間を信じて」頑張つたからこそ喜び、落胆するのです。もちろん、競技である以上勝ち負けはつきます。しかし、勝つても負けてもちやんと得るものはあるはずで

最後に例年のことですが、中3生がマイアミソーランを、中2生がラジオ体操を、中1生と小6生が応援団を中心となつて全校生徒に教え、上級生が下級生に「仲間を信じて」たすきをつないでいく。素晴らしいことです。是非来年も一つ上がった学年での活躍を期待しています。

